



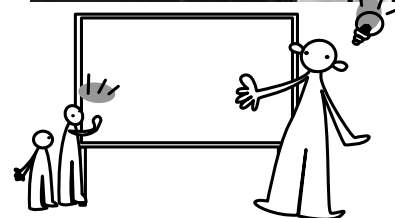
◀ 練馬まち環境倶楽部
ボランティアサークル
一二三会 ▶



◀ サンツ中村橋商店街
振興組合活性化委員会
NPO きららと障害者による
コンソーシアム ▶



PART I こんなやさしいまちにしたいなあ



はじめての一步部門4団体、パートナーシップ区民活動助成8団体（地域活動：5、設備整備：3）
計12団体が練馬区の福祉のまちづくり活動の提案を発表しました

はじめての一步部門

「商店、事業者のまちの福祉環境への関心度調査」 練馬まち環境倶楽部

● 障害者の方の視点で商店街の調査を

私たちの会は、子どもの安全・安心や、商店街の活性化を目的として、石神井公園駅前の清掃を行っている。最近、障害のある方と一緒に活動を行う機会が多く、その際、放置自転車やガードレールのため、障害のある方にとって非常に困難な状況で清掃活動をしていることに気づいた。そこで、私たちは障害のある方の視点で石神井公園の商店街のハード面の調査を行い、その内容を冊子にまとめることを考えている。将来的には、商店街に働きかけて、バリアフリーのモデル店舗にもなっていただくことを考えている。

Q 一昨年作成した「ねりまっぶ」との関係は？

A 石神井公園の商店街に絞って調査する。「ねりまっぶ」の作成に関わった会員もいるので、過去に作成した「ねりまっぶ」も参考とする。単なるアンケートではなく、人間関係を育むような調査、活動としたい。

「ガイド・点字ボランティア学習」

ボランティアサークル 一二三会

● 障害のある方の気持ちをわかってもらうために

一二三会は、障害のある方でも、生活の中で不便な所を周りの人に少しだけ手伝ってもらっただけで普通に生活ができるということを知ってもらいたいという思いで、中村橋の福祉ケアセンターや関町のボランティアコーナーなどで活動を行っている。また、区内の小中学校等での子どもとの交流学習会も行っている。

視覚障害の方と出会ったときにどのように行動すれば良いかを書いたチラシの配布や交流学習会用点字板など、啓発活動を行うため、この助成金を活用したい。

Q 視覚障害当事者の方は、どのように参加するのか？

A 視覚障害の私自身が中心的に参加している。現場に来て良く見てほしい。

Q 他の視覚障害者団体との連携は？

A 点訳グループの方に声をかけている。当団体としては、これからも広げていきたい。

「ハートフルなふれあいタウン サンツ中村橋」

サンツ中村橋商店街振興組合活性化委員会

● 商店街ならではのふれあいでお客さんにやさしいまちを

最近大型店の進出で商店街は経営が苦しいが、お客さんとの親しいふれあいは大切だと思う。高齢者が一休みできる店づくりが大事だということで、今回提案した。

武蔵境駅の近くにある道路のように、車いすにも便利な段差のない道路づくりをめざしてやっていきたい。中村橋は練馬区のバリアフリーモデル地区に指定されているので、地域の商店街としても協力したい。

Q 商店街では放置自転車が問題になっているが、自転車利用者への配慮はどのように考えているか？

A 商店街の近くで自転車を置く場所を借り、商店街に買い物をして来た方に無料券を渡すなどの対策を考えている。

「みんなが喜ぶ街の駅」

NPO きららと障害者によるコンソーシアム

● 朗読劇でセンター建設への希望を提案

社会的弱者のためのワンポイントサービスセンター「街の駅」というテーマで、障害者や幼児や高齢者が一緒に楽しく集える出会いの場づくりを朗読劇により提案。だれでも楽しく集える場所の設置にむけた調査や構想の提案をしたい。

Q 計画が壮大で2年目に基本計画の作成まで予定しているが、実現性についてはどのように考えているのか？

A 約1300人の視覚障害者との関係やスポンサーからの協力が得られるかといった問題がある。期限を区切ってやれるところまでやるか、実際にやれそうなところをやっていくかは今はまだ判断できないが、現在は最短のスケジュールで提案させていただいている。

はじめての一步部門

審査の流れ



1

企画発表

● 提案グループは、審査員と会場にいる一般区民に対して、企画内容の発表を行いました

- ・はじめての一步部門：各5分
 - ・パートナーシップ区民活動助成部門：各8分
- パソコンや模造紙を使ったり、寸劇をしたり、グループごとに工夫をこらした発表でした



2

質疑応答

● 提案グループは、審査員との間で質疑応答をしました

- ・はじめての一步部門：全体で15分
- ・パートナーシップ区民活動助成部門：各グループ8分

質疑応答の様子は、会場にいらした一般の方に公開されました



3

第一次審査

● 企画提案・質疑応答をうけて、審査委員会が第一次審査を行いました。審査員は、審査ポイントに基づいて、審査を行います

この審査で
はじめての一步部門：3団体
パートナーシップ区民活動助成部門：4団体の計7団体提案に対して、助成が決定しました



4

第二次審査

● 第一次審査を通過しなかったグループは、再び審査員と質疑応答をしました

2回目の質疑応答を受け
はじめての一步部門：1団体
パートナーシップ区民活動助成部門：2団体の計4団体の助成が決定しました



5

助成金額審査

● 審査委員会は、第一次、第二次の二回の審査の結果、決定した助成対象グループの企画提案に対して、助成金額の審査を行い、助成金額を決定しました

審査結果は、審査後会場にて発表されました

福祉のまちづくり活動へ！！

2

ふく・まち

3

ふく・まち